

I 新宿のまちの特性と文化芸術資源

新宿のまちは、古くから今日に至るまで、多くの人たちが働き、集う中で多様な文化が育まれると同時に、最先端の文化を生み出してきたまちです。このまちの持つ歴史や文化に加えて、「染色業など昔ながらの地場産業が息づくまち」、「最新の商業施設や娯楽施設が集積するまち」、「31万人が住み、人口の1割を外国人が占めるまち」等、様々な都市としての顔を持ち合わせる、懐の深いまちです。

また、文化的側面からみると、新宿のまちは、江戸城外堀の開削（1636年）を機に牛込や四谷を中心に武家屋敷や寺町が形成され、由緒ある町名や文化財が今に残るまちです。そして、坪内逍遙・尾崎紅葉・中村彝・佐伯祐三といった200名を超える文学者・画家の足跡が刻まれる等、豊かな「土地の記憶」や「まちの記憶」にあふれています。さらには、現在、多くの区民や文化芸術団体、実行委員会等により、活発に文化芸術活動が行われているほか、博物館・劇場・映画館・ライヴハウス・寄席等、多彩な文化芸術施設が集積しているまちでもあります。

1 新宿区の人口特性等

新宿区の総人口は、317,542人であり、住民登録人口282,549人 外国人登録人口34,993人（11.0%）となっています。（平成21年（2009）10月1日現在）

総人口の1割を外国人が占め、118カ国の外国人が新宿区民です。国籍順では、韓国・朝鮮14,503人、中国10,946人、ミャンマー1,246人、フランス1,161人、フィリピン935人ほかとなっています。

また、平成13年度以降、人口は増加基調にあります。人口動態をみれば、毎年2.5万人から3万人が転入・転出を行っており、流動性の高いことが新宿区の特徴としてあります。

そして、多くの人働き・集うまちとしての特徴も有しています。

昼間人口は、770,094人（平成17年（2005）国勢調査）を数えるほか、事業所数は34,297所、従業員数は606,026人（平成18年（2006）10月1日現在 事業所・企業統計）、新宿駅の一日あたりの平均乗降者数は352万5,560人（平成18年度実績）を数えています。

2 新宿のまちの持つ文化芸術の多様性

新宿のまちの持つ文化芸術の多様性は、

- ◇江戸城外堀の開削や内藤新宿の開設以来の多様な人と人との交流
- ◇明治・大正・昭和期の文学者・画家の多彩な活動と支援者たち
- ◇有形・無形の文化財など、豊かな土地の記憶・まちの記憶
- ◇戦後復興期からの歌舞伎町等での大衆文化の発展
- ◇染色・印刷などの地場の産業に息づく文化
- ◇学校・企業・団体等の進出、アニメ等の資源
- ◇多文化共生のまち
- ◇多様な担い手により活発に行われている文化芸術活動

により、形づくられてきたものです。

3 江戸城外堀の開削や内藤新宿開設以来の多様な人と人との交流と文化芸術の創造・発信

- ・寛永13年（1636）の江戸城外堀の開削を機に形成された牛込・四谷の由緒ある町が、町名、坂名等に名をとどめ、今に受け継がれています。
- ・甲州街道の宿場町、江戸四宿の一つとして、内藤新宿が元禄11年（1698）に開設され、玉川上水堤の桜、太宗寺や正受院等の行楽地・名所が生まれました。また、狂歌・戯文学が勃興し、文人墨客が交流するとともに、天明狂歌等の近世文芸が興隆しています。
- ・日本鉄道（現山手線）新宿停車場が明治18年（1885）に開業し、続いて甲武鉄道（現中央線）も開通し、鉄道の結節点としての新宿のまちが形成され、新宿への人の流れが生まれています。また、戦前の新宿のまちでは、新宿大通り・神楽坂等の盛り場が発展し、映画・演劇・寄席・音楽・飲食・風俗等が新宿文化として開花しています。
- ・戦災で一度焼失した新宿のまちは、戦後、新宿駅前の復興や歌舞伎町の誕生等により、新宿文化の復活とアンガラ文化の萌芽の時代を迎えます。歌声喫茶、ダンスホール、ジャズ喫茶、ライブハウス等での大衆文化が創造・発信されるとともに、紀伊國屋劇場の開場（昭和39年）や紀伊國屋演劇大賞の創設（昭和41年）、唐十郎の状況劇場が花園神社境内の紅テントで上演（昭和42年）されました。また、小劇場等での演劇・演芸の公演が多数行われてきました。
- ・現在は、区民や文化芸術団体、実行委員会等の多様な文化芸術の担い手により、音楽・演劇・映画・伝統芸能・サブカルチャー等が、音楽ホール・劇場・小劇場・映画館・寄席・能楽堂・博物館・美術館などの施設を中心に展開されています。

4 明治・大正・昭和期の文学者・画家の多彩な活動と支援者たち

- ・夏目漱石・小泉八雲・坪内逍遙・尾崎紅葉・泉鏡花・永井荷風・會津八一・舟橋聖一など多くの文学者たちが、新宿のまちで暮らし、活動していました。特に落合地域は文士村とも呼ばれ、多くの文学者が住んだまちです。
- ・新宿中村屋の経営者である相馬愛蔵・黒光夫妻を慕い、中村彝・鶴田吾郎・荻原礫山・秋田雨雀・會津八一らが集い、中村屋サロンと呼ばれていました。
- ・紀伊國屋書店創業者の田辺茂一は、舟橋聖一と共に文芸雑誌『行動』・『風景』を発行し、若手作家に活動の場を提供しました。また、書店・ギャラリー・劇場経営の傍ら、戦後は新宿音楽祭や紀伊國屋演劇賞など、多彩な新宿文化を牽引しました。

5 豊かな土地の記憶・まちの記憶—有形・無形の文化財等—

徳川幕府に仕えた儒学者・林羅山と一族の墓所である「国史跡・林氏墓地」（市谷山伏町）、林芙美子終焉の地である「林芙美子記念館」（中井）、花街の雰囲気を守る「神楽坂の路地」、江戸幕府鉄砲隊の儀式を今に伝える「鉄砲組百人隊出陣の儀」（百人町）、八代将軍吉宗が穴八幡宮に奉納したとされる「高田馬場流鏑馬」等、このまちの豊かな土地の記憶やまちの記憶を伝える有形・無形の文化財等が数多くあります。

6 地場の産業に息づく文化

「染の王国・新宿」として、東京染小紋・江戸更紗・東京手描友禅等の工房等が神田川・妙正寺川沿いに集積し、11業種約200名の方々が活動しています。また、区内製造業の約8割、約900事業所の印刷業が牛込地域を中心に集積しています。

7 文化芸術関係の学校・企業・団体等の進出、アニメ等の資源

平成17年(2005)4月以降、芸能花伝舎、宝塚造形芸術大学、東京おもちゃ美術館、吉本興業グループ東京本部、東京モード学園といった文化芸術関係の学校・企業・団体等が進出してきました。

また、手塚プロダクションと新宿区の間では覚書を締結し、『鉄腕アトム』が新宿区の未来特使に任命されているほか、名誉区民のやなせたかし氏の「アンパンマンショップ」、『天才バカボン』や『ひみつのアッコちゃん』を創作したフジオ・プロダクション等があります。

8 文化芸術活動の担い手たち

(1) 区民団体等

新宿文化センターや生涯学習館、コズミックセンターには、区民オペラ・合唱団・絵画・陶芸・書道・華道等の登録文化団体、演奏家等、約700団体(人)が登録されており、活発な文化芸術活動を行っています。

(2) 多彩な名誉区民の方々

区民が郷土の誇りとして尊敬する方を敬愛し顕彰する制度として、「名誉区民」の顕彰制度があり、次の方々が名誉区民として顕彰され、様々な文化芸術分野で活躍されてきています。

西川扇藏氏(日本舞踊家)、稀音家三郎助氏(長唄唄方)、鶴賀若狭掾氏(新内節浄瑠璃)、山勢松韻氏(箏曲演奏家)、鳥羽屋里長氏(歌舞伎音楽長唄唄方)、三川泉氏(能シテ方)、やなせたかし氏(漫画家)、亀井忠雄氏(能楽囃子方)、三遊亭金馬氏(落語家)、故金子鷗亭氏(書家)、故小平邦彦氏(数学者)、故田中傳左衛門氏(歌舞伎囃子方)、故富永直樹氏(彫刻家)、故米川敏子氏(箏曲演奏家)、故大山忠作氏(日本画家)

(3) 活躍する文化芸術団体・NPO法人等

劇団、音楽、舞踊、芸能、伝統芸能、文化芸術団体の活動支援等、様々な分野で活躍し、区内に活動拠点を置く文化芸術団体は240団体を数えています。(平成20年11月 社団法人日本芸能実演家団体協議会の調べ)

(4) 企業活動・メセナ活動

旧四谷第五小学校を拠点として大衆文化の創造・発信を行う吉本興業グループ東京本部や、社団法人企業メセナ協議会に参加している大日本印刷株式会社、株式会社損害保険ジャパン、株式会社新潮社等の企業があり、メセナ活動を行っています。(社団法人企業メセナ協議会のホームページより)

(5) 子ども・学校

音楽・図工・美術等の授業とあわせて、すべての小・中学校で、小学校6年生と中学校2年生を対象に音楽鑑賞教室、小学校5年生を対象に演劇鑑賞教室を行っています。

また、学校独自の取り組みとして、地域の方々の協力の下、伝統工芸や神楽坂の阿波踊り等、地域の文化にふれる機会をもっている学校や、日本の伝統文化である箏や和太鼓の演奏や能楽・狂言の鑑賞を行っている学校等があります。

(6) 多彩な文化芸術イベントを生み出す実行委員会

新宿のまちを大きな劇場に見立てた「新宿芸術天国」(新宿芸術天国運営委員会)、プロのジャズマンや学生のバンドなど107グループが演奏する「新宿トラッド・ジャズ・フェスティバル in ハレクラニ」(新宿トラッド・ジャズ・フェスティバル実行委員会)等、数多くの文化芸術イベントが、区民・文化芸術団体・企業・財団・行政等で組織する実行委員会により行われています。

(7) 豊かな文化芸術資源、多彩な文化芸術関連施設

◇博物館・記念館	新宿歴史博物館、坪内博士記念演劇博物館、會津八一記念博物館 等
◇図書館	区立図書館10館、総務省統計図書館、東京都議会図書館 等
◇ホール	新宿文化センター、区民ホール3館、東京オペラシティ、ウェルシティ東京(東京厚生年金会館)、明治安田生命ホール 等
◇劇場	紀伊國屋ホール、ルミネthe吉本、東京グローブ座 等
◇ライヴハウス	新宿ピットイン、新宿ロフト 等
◇美術館	損保ジャパン東郷青児美術館、東京オペラシティアートギャラリー、東京おもちゃ美術館、聖徳記念絵画館 等
◇画廊	紀伊國屋画廊、朝日生命ギャラリー、椿近代画廊、柿傳ギャラリー 等
◇寄席ほか	新宿末広亭、矢来能楽堂 等

なお、「新宿のまちと文化芸術資源」の詳細については、53頁の資料4に詳しく記しています。



▲新宿歴史博物館

▼新宿文化センター(大ホール)

